

# 2021年度 関西大学バレー部連盟

## 秋季リーグ戦 運営会議

### 議題

日 時 2021年8月4日（水）臨時総会終了後～

方 法 ZOOM ※ミーティングIDについてはタイムスケジュールをご参照ください。

#### 1. リーグ戦運営について

##### (1) 運営方法について

- |                         |            |
|-------------------------|------------|
| ① リーグ戦運営委員の役割（運営マニュアル）  | (総務委員)     |
| ② 新型コロナウイルス感染症予防対策マニュアル | (総務委員)     |
| ③ 個人賞                   | (強化指導普及委員) |
| ④ 各部共通申し合わせ事項           | (競技委員)     |
| ⑤ コートオフィシャル             | (審判委員)     |

##### (2) 競技日程・組み合わせについて

##### (3) 会場について

#### 2. 登録について

(委員長)

#### 3. 参加料について

(総務委員 会計)

#### 4. 感染症予防対策等について

(株式会社Riche様)

#### 5. その他

※リーグ戦運営会議終了後、時間別に各部ミーティングを行います。

ミーティング開催時間につきましては、タイムスケジュールをご参照ください。

リーグ戦運営委員  
運営マニュアル

## はじめに

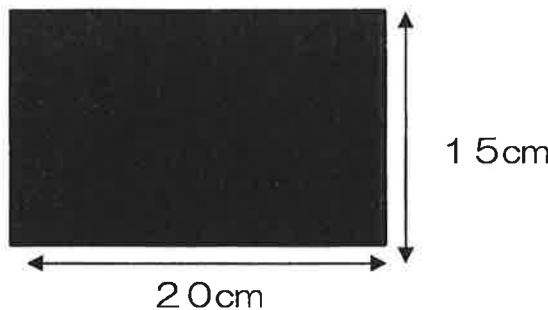
このリーグ戦は、関西大学バレーボール連盟の主要行事です。全大学の皆さんのがこの大会に強い想いをもって日々の練習に取り組まれている事と思います。そんな大会を、リーグ戦運営委員の皆さんと常任学連委員が協力し運営することでより良いものにしていけたらと考えています。2021年度のリーグ戦運営がスムーズに進み、選手の皆さんのが思い切ってプレーを出来るよう皆さんのご協力よろしくお願いします。

## <会場設営>（会場校は、コート設営から片付けまで行って頂きます。）

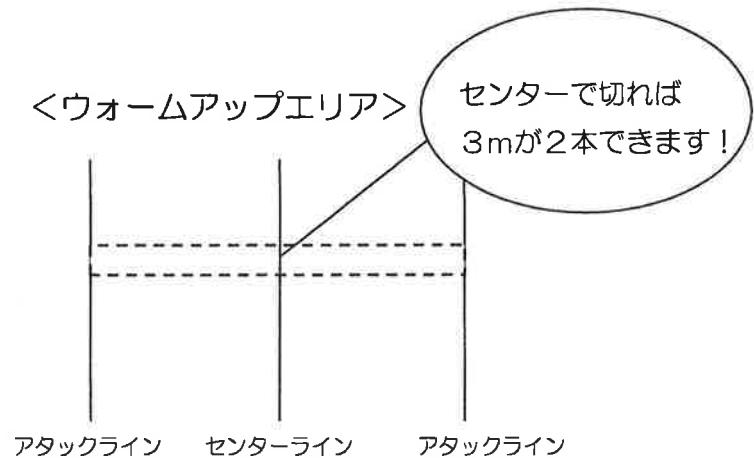
### 1. ラインテープ（各部共通）

- ① バレーボールに関係するラインに交わる・並行する白色のラインを消しテープ（茶色）で隠す。
  - \* 交わるライン→ 30cmほどずつ、並行するライン→ 全て
- ② 9mの横ライン全てにラインテープを貼ったのちに、18mの縦のラインを貼る。
  - \* アタックラインは両端2mほど、サイドラインは両端50cmほど長く貼る
- ③ アタックラインの延長線1.75mとエンドライン側のサービスゾーンの破線を作る
  - \* アタックラインの延長線はサイドラインから20cmあけて15cmのラインを貼る作業を5回繰り返して1.75mの破線を作る
  - \* サイドラインの延長線上に端から20cmあけて15cmのラインを貼る
  - \* 警告カードや定規を利用して正確に行う
- ④ アタックラインからセンターラインの3mを利用してウォームアップエリアを作る。
  - \* 以下の図を参考にして下さい

<警告カード>



<ウォームアップエリア>



※バレーボール6人制競技規則のルールブックにも記載があるので、そちらも目を通していただくとより分かりやすいと思います。

### 2. 大会本部設営（各部共通）

- 長机（1～2）、椅子（3～6）を準備し、
  - ・コンポジションシート（エントリー用紙）
  - ・ラインナップシート（目玉）
  - ・変更届
  - ・事前販売用パンフレット（各チームにより冊数が異なるため、紙を見て確認）を1セットとして各チーム分用意する。
- チェックプロ、1F用紙、WORKBOOKを机上に出しておく。
  - \* 空いた時間で翌週の分を作っておくと効率が良いです

影許可証をつけていない人にはその場で注意し、撮影許可証を取りに行ってもらう。

(選手の皆さんのがプレーしやすい環境を作るために今年度から各部共通にし、盗撮防止のためにもご協力お願い致します。)

試合中も次の試合の準備や次週の運営に向けての準備などが行われています。

常任学連員からの指示があればお手伝いよろしくお願ひします。

また、アナウンスや開閉会式などにも携わっていただけたらと考えています。

皆さんにリーグ戦運営に積極的に携わっていただけることを願っています。

#### 【問題が生じた時の対応】

- 1) リーグ戦運営で問題等生じた場合は、リーグ戦運営委員、リーグ戦運営責任者で協議する。
- 2) リーグ戦運営委員、リーグ戦責任者で対応できない場合は、各部担当学連委員を通じ、競技委員会へ連絡し、対応する。
- 3) その他、緊急を要する場合は、競技委員会に連絡する。

※ 問題が解決した場合においても、必ず競技委員会まで速やかに報告してください。

#### 【危機管理について】

- 1) 安全第一、特に参加学生の安全確保を最優先とします。
- 2) 台風接近、悪天候等の影響が予想される段階で、基本方針を発表します。

〈試合前日〉①判断基準は、近畿地方への特別警報、暴風警報の発令と解除を基準とします。  
②会場となる大学等の規則および判断、公共交通機関の運行状況も考慮します。  
③直撃を免れないと判断した場合は、出来るだけ早い段階で中止を決定します。  
④定時連絡時間を設定し、次の時刻に行います。{午後1時}・{午後10時}  
⑤午後10時を最終判断とし、例えその後警報が解除されてもその日は中止とします。

〈試合当日/試合開始前〉①前日の午後10時以降に特別警報、暴風警報が発令された場合、中止とします。  
②既に会場に向けて出発している場合は速やかに帰宅または安全な場所に避難してください。  
※中止権限については、競技委員長判断（決済）で行うことも可能とします。

〈試合当日/試合開始後〉試合開始後、特別警報、暴風警報が発令された場合、中止とします。中止決定については、リーグ戦運営委員→担当学連委員→競技主事→競技委員長→理事長の連絡を基本とし、理事長判断（決済）とします。

※中止権限については、競技委員長判断（決済）で行うことも可能とします。

- 3) その他、会場校における入校制限(立入禁止)措置等発令された場合にも同様として扱い、中止とします。
- 4) 中止された試合は、その後の調整を競技委員会が速やかに行い、理事長決済とします。調整が困難と思われる場合には、速やかに調整本部(理事長、学連委員長、総務委員長、審判委員長、競技委員長)を立ち上げ、連絡調整を図ることとします。

## ＜試合前・試合間の運営＞

1試合目 アナウンスがある場合→試合開始時刻の16分前にプロトコール  
ない場合→試合開始時刻の15分前にプロトコール

公式練習 5分間

### 1. 試合前にすること（各部共通）

#### ① エントリーチェック

- \* チェックプロをみてエントリーの漢字・番号・選手の名前に間違えがないか確認
- \* キャプテンの番号に丸が付いているかを確認

※チェックプロに記載がない選手がエントリーされている場合、担当常任学連委員まで至急連絡して下さい。

試合後にチェックプロに記載がない選手が出場したと発覚した場合は没収試合となるため、絶対に出場させないこと。

もし、その事実が判明した場合は常任学連委員に連絡すること！

#### ② エントリーをIF用紙に記入する。（IF用紙は全て青色のペンで記入）

- \* リベロも含めて背番号順に記入
- \* 間違えたら二重線で訂正をする（修正テープは使わない）
- \* チームスタッフも記入

常任学連委員がチェック

#### ③ ボールの空気圧をチェックする。（310～315）

#### ④ エントリーをもとにパドルを作成する（男女1部）

- \* はずれないようにしっかりととめる
- \* 持ち手にも必ず番号を貼る

常任学連委員がチェック

### 2. 試合間にすること（各部共通）

#### ① チームネームの張替え

- \* 組み合わせ通り上位チームを左側に貼る

#### ② 速報のアップ

- \* 勝ちチームが左でセット・得点を入力（3文字略）
- \* 勝敗は勝ちチームが上で入力（大学正式名）

常任学連委員がチェック

#### ③ JVIMSに主審・副審名打ち込み・セット時間・勝敗など打ち込み（男女1.2部）

- \* 試合結果速報に反映されるので間違いのないように打ち込む

#### ④ IF（各部共通）・バックアップ・リベロチェック（男女1.2.3）の回収

- \* バックアップは試合毎にホッチキス止めにする

#### ⑤ 次のアナウンスの準備（男女1部）

#### ⑥ パドルの貼り替え（男女1部）

常任学連委員がチェック

#### ⑦ 撮影許可証の準備・発行・見回り

撮影許可証と撮影許可用紙を準備して、貸し出した撮影許可証の番号を撮影許可用紙に書き込む。返却されたらチェックを入れる。（撮影許可証は本部で受付する）

- \* 試合中に手があいているときは無許可で撮影をしていいかの見回りをする。撮

### 3. ベンチ・観客席・IF 席 等 (各部共通)

- サイドラインより3~5m離れたところにベンチ・観客席を作る。
  - \* 3~5mの範囲内でなるべく広くとる
  - \* コートからベンチ、コートから観客席は同じ幅にする
  - \* チームベンチは椅子1脚からなる
  - \* ペナルティエリアは規定の場所に備品の赤テープを用いて作る
  - \* チームベンチはアタックラインの延長線上から置き始めるのではなく、1~1.5mあけて置く
- エンドラインから壁までが6.5m以上ある時、6.5mの位置にシートまたは赤色ラインテープでエンドラインに並行して9mの目印を作る。
- IF 席、JVIMS 席 (男女1.2.3部) をベンチ側につくる。(それぞれ長机1、椅子3)
  - \* IF 席・JVIMS 席に用意する備品
    - 各部共通→IF 用筆箱、ルールブック、ボール拭き2枚、ラインズフラッグ
    - 男女1部→ブザー、コレクター椅子
    - 男女1.2.3部→バックアップ (大量)
- 旗を張る。(男女1部)
  - \* ギャラリーの大会の中心となるコートの辺りに次の順に張る。
    - 正面から見て左から 毎日、日の丸、学連旗、スポニチ (男子)
    - 毎日、日の丸、学連旗、スポニチ (女子)

### 4 . ネット (各部共通)

- ① ネットの真ん中の高さが男子：2m43cm、女子：2m24cmになるようにする。
- ② 両サイドの高さの誤差はそれぞれの中央の規定に ±2cm までにおさめる。
  - \* 但し、両サイドの誤差が同じになるように調節する
- ③ ポールカバーからはみ出るひもは伸びテープでとめる。
- ④ アンテナや白帯が曲がらない・ずれないように丁寧に取り付ける。
- ⑤ 主審側のポールの最上部に警告カードを取り付ける。

- サイドのひもを真横に引っ張ること
  - ネットの四角がゆがまないようなるべく綺麗に張ること
  - 両サイドにはみ出るネットの幅を同じにすること
  - 四角の数が上から4・3・3になる位置にサイドの紐が付いている事を確認
  - アンテナ・伸びテープを付けた時なるべく白帯が歪まないようにすること
  - 高さは正確に！

この他にも、学連本部や審判控室の準備などが並行して行われます。

常任学連員の指示でお手伝いの方よろしくお願いします。

## 秋季リーグ戦運営会議またはリーグ戦開幕までに

各チームに公平に仕事を行ってもらうために、リーグ戦運営委員でミーティングを行う。

- 役割分担を決める。(男女3~7部)

\* どこのチームが何の仕事を行うかを確認し合う

例：この試合は、〇〇〇大学が本部で仕事をする。

(コートオフィシャルを行っているチームが仕事を行うなど)

※各試合の補助役にあたっている大学から1~2名必ず本部席で運営してください。

\* 試合結果速報にアップする人を決める(男女3~7部)

(I Fを書いていた人がアップするなど)

※試合結果が間違っていないか必ず他の人とチェックをもらって下さい。

皆さんの速報を一般の方も閲覧するので正しい試合結果のアップをお願いします。

本日の運営会議で決まらなかった部分は、リーグ戦開幕までにリーグ戦運営委員で話し合い、必ず決めて下さい。

## リーグ戦開幕まで

- 各部代表のリーグ戦運営委員は、担当の常任学連と密に連絡を取り合う。  
※男女3部に関しては、お金を管理してもらうため特に連絡を取り合う。
- 開閉校のチームにマイク2本、マイクスタンド1本があるかを確認する。  
(初日、最終日のみ)
- 足りない用具がないか事前に確認しておく。(ポールカバー、アンテナ等)  
足りない場合は、他のチームに借りることができるか交渉する。
- 開幕校のチームは、リーグ戦開幕までに学連事務所へ備品を取りに来る。  
※備品バッグ、ボール、優勝杯、レプリカ

## 開閉会式について

- 秋季リーグ戦では開閉会式を行わないので、開閉会式に関する準備は不要。

関西大学バレー ボール連盟  
新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル

施行：令和2年9月25日  
改正：令和3年7月22日

本マニュアルは、新型コロナウイルス感染症防止対策に関するスポーツ庁、（公財）日本スポーツ協会から示された各種の指針や、（公財）日本バレー ボール連盟が感染拡大防止のために発表されたガイドラインを基に作成し、関西大学バレー ボール連盟の各種事業において、関係者全員に遵守させる。

### 1. 各種大会開催・実施時における留意点

各種大会等の開催・実施時の感染防止対策について、（公財）日本スポーツ協会の各種指針や専門家会議提言等に基づき、参加者が安全・安心に参加できるよう、近畿2府4県の方針に反しないことを前提として、大会等を開催・実施する。大会等の運営にあたり留意すべき事項を以下の通りとする。また、各事項についてはチェックリスト化し、各事項が遵守されているか定期的に巡回・確認する。このことは、本連盟役員はもとより、参加者を含む関係者全員が感染防止に取り組むよう、抽選会やリーグ戦運営会議等でも事前に注意喚起を促すようにする。

#### （1）大会等の参加募集時の対応

大会及びリーグ戦等の参加募集に際し、感染症拡大防止のために参加者が遵守すべき事項を明確にする。参加者の安全を確保するため、以下を遵守できない参加者には大会等への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがあり得ることを周知する。

##### ・ 感染症拡大防止のための措置

- ① 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせることを要請する。なお、大会当日に健康チェックシート（様式1）を関係者及び参加者に提出いただき確認を行う。
  - ア 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
  - イ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
  - ウ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- ② マスクを持参すること。（参加受付時や着替え時等の競技を行っていない際や会話をする際にはマスクを着用すること）
- ③ こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒の実施。
- ④ 他の参加者、主催者スタッフ等との距離を確保すること。（できるだけ1m以上／障

がい者の誘導や介助を行う場合を除く)

- ⑤ 大会開催中は大きな声での会話、応援等をしないこと。
- ⑥ 感染症拡大防止のために主催者が決めたその他の措置を遵守し、主催者の指示に従うこと。
- ⑦ 大会終了後 2 週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに 濃厚接触者の有無等について報告すること。

## (2) 当日の参加受付時の対応

大会当日の受付時に参加者が密になることを防止し、安全に大会等を開催・実施できるよう、以下のことに配慮して受付を行うこととする。

- ① 受付窓口には、手指消毒剤を設置すること。
- ② 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は入場しないように呼びかけること。(状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限すること)
- ③ 受付を行うスタッフには、マスクを着用させること。
- ④ インターネットを活用した受付の普及を一層図ることで、受付場所での書面の記入や現金の授受等をできるだけ減らすようにすること。

## (3) 大会参加者への対応

### 1) 書類による体調の確認

参加チーム代表者には大会当日、以下の事項を記載した書面の作成・提出を依頼する。

- ① 全員の氏名、年齢と代表者の住所、連絡先（電話番号）※個人情報の取り扱いに留意
- ② 大会当日の体温（全員分）
- ③ 大会前 2 週間ににおける以下の事項の有無（全員分）
  - ア 平熱を超える発熱（37.5℃以上）
  - イ 咳（せき）、のどの痛みなど風邪の症状、嗅覚や味覚の異常
  - ウ 体が重く感じる（だるさ、倦怠感）、疲れやすい、息苦しい（呼吸困難）等
  - エ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無
  - オ 同居家族や身近な知人の中で感染が疑われる方の有無
  - カ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への 渡航又は当該在住者との濃厚接触の有無
- ④ 大会開催 2 週間前から大会終了後 2 週間以内に参加チーム内において新型コロナウイルス感染症が発生した場合は、本連盟総務委員長に対して速やかに新型コロナウイルス感染症発生届（様式 2）を提出し状況を報告する。

### 2) マスクの準備等

参加者に必ずマスクを着用させる。参加受付、着替え、表彰式等の直接競技を行っていない間、特に会話する時には、マスクの着用をさせる。また、大会に参加する個人や

団体は、大会の前後のミーティング等においても、三つの密を避けること、会話時にマスクを着用するなどの感染症対策に十分に配慮するよう注意喚起を促す。

### 3) 入退場の管理

各チーム、試合当日の会場への入場については、本連盟が提示する入場スケジュールに従うこと。

## (4) 大会等の準備・配慮すべき事項

### 1) 大会会場・競技備品類

大会時の試合間には、必ず換気を行い、競技で使用する備品についても以下のことに注意する。

① 屋内で競技を実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行う。窓を開けることができる環境でも、競技中は遮光の関係で暗幕を閉じる必要があるが、セット間など定期的に開放して外気を取り入れる等の換気を行う。空調設備の活用や、必要に応じて扇風機を併用するなどの工夫を心掛ける。

② 試合球はできるだけ複数個用意し、こまめに消毒・清掃を行って交換しながら使用する。

③ 競技者交代のためのナンバーパドルは、選手同士の接触を減らすために使用しない。

④ 線審のフラッグ、得点板、モップ等、試合で使用する備品類のこまめな消毒など衛生対応に留意する。

⑤ 審判員の笛（私物）についても、唾液の付いた状態での放置を避けるなど、不慮の接触を避けるため留意を求める。

⑥ ベンチ席は原則1列で座席の間隔を空けて設置する。但し、会場により確保できない場合は2列にするなど工夫する。

⑦ ウォームアップエリアを規定の広さを超えて設置する。但し、会場により設置が難しい場合はベンチ後方やサービスゾーン後方で余裕のあるスペースに設置する。

（例：4m×4m程度や長方形（約16m<sup>2</sup>）でも可とする。）

⑧ セット間のコートチェンジは行わない。

⑨ リーグ戦運営委員は試合前後・セット間等、こまめに備品の消毒を行う。

### 2) 運営スタッフの体調確認

参加チームのみならず、運営に関わるすべてのスタッフ全員の体調・検温確認も徹底する。

### 3) 式典等、運営の簡略化

コイントス時、キャプテンと審判間のあいさつや試合前後の握手に関して、当面は一礼とする。また、開・閉会式、表彰式などでは、参加者が密になる状態を避けるため、式典参加者の人数を減らし、内容を簡略化する。

### 4) トイレ・手洗い場所

洗面所（トイレ）の感染リスクが高い場所への配慮をする。また、参加者が大会等開催・実施の間に手洗い・うがいをこまめに行えるよう、手洗い場所を確保する。

- ① トイレ内の複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、水洗トイレのレバ一等）については、リーグ戦運営委員がこまめに消毒する。
- ② トイレの蓋を閉めて汚物を流すよう表示する。
- ③ 手洗い場には石鹼（ポンプ型が望ましい）を用意する。
- ④ 「手洗いは30秒以上」等の指示をする。
- ⑤ 可能な範囲で、手を拭くための使い捨てペーパータオルを用意する。（参加選手にはマイタオルの持参を求める。）
- ⑥ 手洗いが難しい場合は、アルコール等の手指消毒剤を用意する

#### 5) 更衣室、休憩・待機スペース

更衣室や、一時的な休息をするための休憩スペース、参加者等が参加前の確認を受ける待機スペース（招集場所）について、以下のように配慮する。

- ① 他の参加者と密にならないよう広さにゆとりを持たせる。（障がい者の介助を行う場合を除く）
- ② ゆとりを持たせることが難しい場合は、一度に入室する参加者数を制限する等の措置を講じる。
- ③ 室内又はスペース内で複数の参加者が触れると考えられる場所（ドアノブ、ロッカーの取手、テーブル、椅子等）については、こまめに消毒する。
- ④ 換気扇を常に回す、換気用の小窓を開ける等、換気に配慮する。

#### 6) 競技中の注意事項

プレー中も選手、スタッフ同士の接触機会を減らすよう、参加チームに対し競技前に周知のうえ協力を要請する。

- ① 当面の間、試合用コート1日1面あたり6チーム（3試合）を超えない範囲での参加を原則とする。（但し、3試合以上実施する場合は、換気や消毒のための時間を十分に空けて実施すること。（一社）全日本大学バレーボール連盟の全日本大学バレーボール男女選手権大会と同様の取り扱いとする。）

#### ② 競技設定時間及び体育館への入館時間

##### 1コート2試合の場合

第1試合開始10時00分、第2試合開始14時00分

##### 1コート3試合の場合

第1試合開始10時00分、第2試合12時30分、第3試合を15時30分、  
試合開始時間は、体育館の都合によっては、変更もある。

体育館への入館時間・審判役員集合時間は、試合開始の1時間前とする。

#### ③ セットごとの換気など適切な感染防止対策の実施。

・換気のためのセット終了後速やかに、遮光カーテンや窓、扉の開放については、会

場校や試合を行っているチームの応援学生に協力してもらう。

- ・基本、コートチェンジは行わない。

コートチェンジを実施する際はベンチの椅子等の消毒を各チーム中心に行う。

(例：使用したチームのエントリー以外のものが、除菌シート等で拭き取る。)

④ 試合前などの円陣や、ベンチでの集合時においてもできるだけ密集・接触を避ける。

⑤ 競技中のハイタッチは腕のタッチにとどめる。

⑥ ネット際などで、相手に向いた状態での発声は控える。

⑦ タオル、水ボトル、アイシングバッグなどの共用禁止。

競技に携わるスタッフ（モッパー、サンドレベラー、レトリバーなど）の注意事項も明確にしておく。

⑧ 会場の密を避けるために、合同練習は公式練習と同様に、練習の補助を5人までとする。

## 7) 審判・コートオフィシャルの注意事項

① ホイッスル使用時はマスク内側で使用するもしくは、ホイッスルカバーを使用する。

② スコアラー、アシスタントスコアラーはマスクを着用する。また、ボールペン等の共用はできるだけ避ける。スコアシートへのサインの採録時は、専用のものを使用するか、消毒したものを使用する。椅子や机等については、使用前・使用後に使用者が消毒を行う。

### ③コートオフィシャルについて

3会場で行う場合：第1試合は、第2試合の両チームで行う。

第2試合は、第1試合の両チームで行う。

2会場で行う場合：第1試合は、第2試合の対戦表の左側のチームで、

第2試合は、第1試合の両チームで行う。

第3試合は、第2試合の対戦表の右側のチームで行う。

※第1・3試合担当のコートオフィシャルについては、事前に第2試合の両チームで相談をして担当を入れ替えててもよい。担当を入れ替えた場合は、リーグ戦運営委員に報告すること。

※LJ、スコアラー、リベロチェック、JVIMS、ボールリトリバー、得点、(主審・副審)を行う。

※ただし、人数が足りない場合は、ボールリトリバー、得点を減員しても良い。その際、学連員にどの担当を減員するのか必ず相談すること。

(例：リトリバーを4名（5・3ボールシステムで対応）、ボールリトリバー2名（1ボールシステムでコレクターとして対応）得点板を1ヶ所で1名等)

④ ラインジャッジはマスクを着用する。ラインジャッジフラッグは、試合の前後に消毒する。

⑤ ボールリトリバーは、ビニールの手袋を着用する。試合球の消毒をセット間および

タイムアウト中に行う（5・3 ボールシステムの時は、記録席とNo.2、No.4が対応する。1 ボールシステムの時は記録席が対応する。）

⑥ クイックモッパーは各チームで対応する。コートが大きく濡れた場合は、主副審の判断で柄付きモップを使用する。

#### 8) 観戦について

① 観客は当面の間、無観客とする。

② チームの応援については、声を出しての応援は不可とする。観覧席のある会場では観覧席から行う。観覧席がない場合は指定されたエリアで行う。観覧席での応援は、前後1席を空けて着席する。コートサイドでの応援は、密を避けるために椅子を用意し着席する（間隔をあけて椅子を設置）。なお、立位での応援は認めない。

③ 基本コートチェンジは行わない。各セット終了後のコートチェンジをする場合、応援者は移動しない。

④ 応援ではソーシャルディスタンスを保ち、マスクを着用し、声を発声せず、拍手のみで行う。

⑤ アナリスト等、チーム関係者のビデオ撮影に関しては、事前に関西学連事務所に申請をした場合のみ可能とする。

#### 9) ゴミの廃棄

ゴミは各自でビニール袋を準備し持ち帰るようにする。

#### （5）その他の留意事項

万が一、感染症罹患者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、大会当日に参加者より提出を求めた書面（上記（3）1）について、保存期間（少なくとも1か月以上）を定めて保存しておく。また、大会終了後に、参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合の対応方針については、自治体の衛生部局と相談の上、その後の対策を講じることとする。

以上

## [ 様式 1 ] 健康チェックシート

[様式 1]

関西大学バーボル連盟

### 健康チェックシート（提出用）

本健康チェックシートは、関西大学バーボル連盟が開催する各種大会・講習会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。

本健康チェックシートに記入いただいた個人情報について、主催者は、厳正なる管理のもとに保管し、大会・講習会等連絡関係者の健康状態の把握、来場可否の判断および必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除きご本人の同意を得ずに第三者に提供いたしません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合は、必要な範囲で保健所等に提供するごどがあります。

#### <基本情報>

チーム名 又は 所属		代表者 連絡先	
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
氏名		電話番号	
		Eメール アドレス	
住所	〒		

#### <大会当日の体温>

月日	曜	起床時体温	会場入場時体温	入場時刻	退館時刻	検温・記入担当者名

#### <大会当日までの体温>

月日	曜	起床時体温									

#### <大会前 2 週間における健康状態> ※該当するものに「✓」を記入してください。

チェック項目	チェック欄
① 平熱（37.5℃）を超える発熱がない	平熱（ 度）
② 咳（せき）、のどの痛み等の風邪症状がない	
③ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）がない	
④ 嗅覚や味覚の異常がない	
⑤ 体が重く感じる、疲れやすい等の症状がない	
⑥ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がない	
⑦ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいない	
⑧ 過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間が必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がない	
⑨ その他、気になること（以下に自由記述）	

(大会参加者が未成年の場合) 保護者 確認欄

保護者 氏名 \_\_\_\_\_

電話番号 \_\_\_\_\_

Eメールアドレス \_\_\_\_\_

確認日

西暦

年

月

日

[ 様式2 ] 新型コロナウイルス感染症発生届

[様式2]

関西大学バレーボール連盟

**新型コロナウイルス感染症発生届**

届出日

年　月　日

		大学（男子・女子）	部リーグ
連絡者	氏名：	連絡先：	
感染症発症発覚日		月　日	
第1感染者発症日		月　日	備考
現在の感染者数		人	備考
現在の濃厚接触者数		人	備考
保健所からの連絡		① 検査待ち(検査未実施)	
		② 検査済み(結果待ち)	
		③ 検査済み(結果確定)	
		④ 濃厚接触者の認定	
保健所からの指示		① 指示待ち	
		② 指示有り	
保健所からの指示有りの場合のその内容を具体的にご記入ください。			
大学への連絡、大学からの指示		① 大学への連絡	連絡済み・未
		② 大学からの指示	有・無
大学からの指示有りの場合のその内容を具体的にご記入ください。			

# 新型コロナウイルス感染症防止対策マニュアル 要点および変更内容

1. 本連盟各種事業の**関係者全員**が**遵守**する
2. 遵守できていない参加者に對し**参加取消や退場**を求めることがある
3. 主催者および参加者は**健康チェックシート**を提出する
4. チーム内において新型コロナ感染症が発生した場合、総務委員長宛に**発生届を速やかに提出**する。
5. 試合会場への**入場は指定時間**を守る。
6. チームベンチ(は原則1列)で**座席の間隔を空けて設置**する。
7. W-UPエリアは**規定の広さを超えて設置**する。
8. セット間の**コートエンジ**は**行わない**。
9. リーグ戦運営委員(は試合前後・セット間等、備品の**消毒**をする。
10. チームの応援は**声出しおよび立位不可**。



関西大学バレーボール連盟  
強化指導普及委員会

## リーグ戦個人賞

- 《最優秀監督賞》 1部優勝監督
- 《優勝監督賞》 2・3部優勝監督
- 《最優秀選手賞》 1・2・3部最も優秀な選手（優勝チームから）
- 《敢闘賞》 1・2・3部最優秀選手に準ずる優秀な選手（準優勝チームから）
- 《スパイク賞》
- 《ブロック賞》
- 《サーブ賞》
- 《サーブレシーブ賞》
- 《ベストスコアラー賞》
- Vプレミアリーグ表彰規定を準用するが、1部リーグは上位リーグ、2・3部はリーグのJVIMSバックアップをもとに決定する。
- 《ベストリベロ賞》
- 《レシーブ賞》（リベロを除く）
- 《セッター賞》 リーグ戦の各資料を参考にし、客観性を重視し、理事会で決定する。原則1名選出とするが複数受賞も認める。
- 《新人賞》 リーグ戦の各資料を参考にし、客観性を重視し、理事会で決定する。受賞資格は登録1年目の選手で春季・秋季各1名決定する。なお、春季・秋季と同じ選手が受賞することはできない。
- 《ベストサポーター賞》 リーグ（1部10試合）の各種資料を参考にし、客観性を重視し、理事会で決定する。（1部のみとする）

### その他

各個人賞は全試合数の70%以上兼チームの総セット数の60%以上出場した選手を対象とする。

2021年度 関西大学バレー部連盟  
秋季リーグ戦 申し合わせ

**<競技上の注意事項> 新型コロナウィルス感染症対策として今季は変更があります。**

1. 競技方法について

- 1) 2021年度公益財団法人日本バレー部連盟6人制競技規則に則り行います。
- 2) 関西大学バレー部連盟、男子リーグ戦規定、女子リーグ戦規定に則り行います。

2. 試合球について

- 1) 男子(公財)日本バレー部連盟モルテン社製カラー部( V5M5000 )を使用します。
- 2) 女子(公財)日本バレー部連盟検定球ミカサ社製カラー部( V300W )を使用します。

3. 競技時間設定等について

1) 1コート試合数	開館時間	運営委員 コート準備	第1試合				第2試合以降 プロトコール
			受付開始	競技エリア開放	プロトコール	試合開始	
2試合	9:30	9:30~10:10	9:30	10:15	10:44	11:00	別紙「秋季リーグ戦競技時間設定及び入館時間」を参照のこと。
3試合	9:00	9:00~9:40	9:00	9:45	10:14	10:30	
4試合	9:00	8:30~9:10	9:00	9:15	9:44	10:00	

\*各部によって時間設定に変更があります。詳細は各部の緊急連絡網に流します。

- ① 運営委員コート準備…リーグ戦運営委員を中心に準備してください。責任者はコートの最終点検、確認(インスペクション)を行い、定められた時間に競技エリア開放を開始してください。
- ② 競技エリア開放…コート内(ベンチ、ウォームアップエリア含む)及びフリーゾーン、サービスゾーン、サブステイションゾーンの開放
- ③ コートオフィシャルは、試合終了時に次試合のプロトコール時間を、ストップウォッチで必ず計測を開始してから退席してください。
- ④ 連続試合の場合は、前試合終了45分後プロトコールで行います。
- ⑤ 公設体育館使用の場合、変更する場合があります。

- 2) チームが正当な理由なしに定められた時間までに競技場に現れない場合は、不戦敗を宣告されます。

- ① 試合開始時刻が設定されている場合は、試合開始時刻より15分後までとします。
- ② 試合開始時刻が設定されていない場合は、プロトコール終了より15分後までとします。
- ③ 試合前々日の19時までに棄権チームが発生した場合(学連届出)、試合順等を変更する場合があります。  
それ以降の棄権については、競技規則に基き、当該試合を没収とし、試合順等の変更は行いません。

4. 開催方式について

1) 部	方式
1	2会場各2面開催を基本とし、4会場各1面、もしくは2会場各1面もある。
2~6	1会場1面あるいは2面を基本とする。2会場各1面もある。
7	1会場1面を基本とし、2会場各1面、もしくは1会場2面もある。

- 2) 公設体育館を使用する場合があります。

5. 公式練習等について

- 1) 合同練習・公式練習はその試合にエントリーされた選手以外に5名までの参加を認める。  
公式練習は各チーム5分間(合同10分間)とし、エントリー以外の選手のボール拾いは、コート外で5名まで認めます。5名の服装については、ユニフォームやベンチスタッフの服装と異なる服装とし、5名については球出し、コート内への侵入、練習に直接携わる行為は厳禁とします。
- 2) 公式練習後、部旗、ボールケース等は、試合開始までに競技エリア外、ベンチ及びウォームアップエリア付近外へ出してください。また、競技中のベンチ周りの整理に努め、ベンチには、競技に必要なもの以外の持ち込みは自粛してください。

6. チーム役員について

- 1) ベンチスタッフの服装は、ジャケットを着用するか、チームで統一された服装でなければならない。
- 2) 部長、監督が正装し、他の役員がトレーニングウェアを着用してもよい。
- 3) トレーニングウェアを着用する場合は、チームで統一されたものとします。但し、統一された服装であっても、Tシャツ等の襟の無いものや、短パン、ハーフパンツは許可されません。刺繍のワンポイントの違いまでは認められます。
- 4) 部長がトレーニングウェアを着用する場合は、役員全員が統一されたトレーニングウェアを着用してください。
- 5) 部長、監督、コーチ、トレーナー、マネージャーは必ず規定の各マークを左胸につけてください。
- 6) 上記1)~5)に準じていないスタッフのベンチ入りは認められません。
- 7) チーム役員の試合途中参加はその都度可能です。
  - ① 遅れる場合は事前に、審判、学連本部に申し出てください。
  - ② 試合開始に遅れてきたチーム役員の着席は認められます。監督が試合に遅れてきた場合、ゲームキャプテンが監督がきたことを審判へ口頭で伝えることで、監督の権利行使することができる。監督はセット又は試合終了後に記録用紙にサインをする。

7. 試合当日の構成メンバー表提出について
- 1) 第1試合は試合開始30分前までに本部席に提出し、承認を得てください。
  - 2) 第2試合以降は、前試合の第1セット終了までに本部席に提出し、承認を得てください。但し、2試合目以降のチームは、第1試合開始後に提出してください。
  - 3) チーム構成メンバー表提出後の変更は認められません。
  - 4) 部長以外(監督、コーチ、トレーナー、マネージャー)の役員を変更する場合、変更届を同様に提出してください。※スタッフの追加登録を定められた期限までに完了している場合に限ります。
  - 5) プログラムに記載された番号を試合当日に変更する場合、変更届を提出してください。但し、男女1、2、3部はJVIM S運用の関係上、背番号の変更は一切認められません。
  - 6) 申請された番号以外で競技開始前に判明した場合は、正しいユニフォームに着替えてください。着替えることが出来ない場合は、試合に参加することができません。
  - 7) 試合中に申請された番号以外または申請された番号と違う選手が試合に出場していたと発覚した場合は以下のとおりとする。
    - ① 3セット目開始前までに発覚した場合はそれ以前のセットを没収セットとする。
    - ② 3セット目開始以降に発覚した場合は没収試合とする。
  - 8) 試合後に有効に登録およびエントリーされていない選手が試合に出場したと発覚した場合は、不戦敗とし没収試合となります。
  - 9) 構成メンバー表の提出が遅れた場合は、棄権とみなし当該試合を没収する場合があります。
8. ユニフォーム等について
- 1) ユニフォーム
    - ① ユニフォームとは、ジャージ(シャツ)、ショーツを指す。ソックスもユニフォームに含まれる。
    - ② ユニフォームは配色やデザインが統一されていなければならない。(リベロ・プレーヤーを除く)
    - ③ チームは、カラーの異なった2種類のユニフォーム(ジャージ(シャツ)・ショーツ)を用意することが望ましい。
    - ④ ユニフォームのメインカラー(主たる色)は、65%以上を占めていることとする。
  - 2) ジャージ(シャツ)、ショーツ
    - ① ジャージ(シャツ)およびショーツは色、デザインが統一されていること。
    - ② ジャージ(シャツ)は半袖・長袖が混在していてもよい。
  - 3) ソックス
    - ① ソックスについては、長さと色を統一し、刺繍(ロゴマーク等)のワンポイントまでの違いは認めます。尚、くるぶしが見えるような短いソックスを履いてのゲームへの参加は認められない。
  - 4) トレーニングウェアの着用
    - ① 気温が規定を下回る場合には、主審の許可を得て、全員が統一したデザインで競技者番号のついているものに限り着用することが出来る。
  - 5) 競技者番号
    - ① ユニフォーム(ジャージ(シャツ))には、競技者番号がユニフォームとはつきり区別できる対照的な色で、明確に表示されなければならない。
    - ② 競技者番号のサイズは、シャツ胸部・中央:高さ15cm以上、字幅2cm以上 シャツ背部・中央:20cm以上、字幅2cm以上とする。
    - ③ ショーツ前面右下に、高さ4~6cm、字幅1cm以上の競技者番号を付けてもよいが、全員がそろっていなければならない。
  - 6) チームキャプテン
    - ① チームキャプテンは、胸のナンバーの下に、長さ8cm、幅2cmのマークを、ジャージ(シャツ)と異なった色で付けていなければならない。
  - 7) チームネーム
    - ① ジャージ(シャツ)の胸部もしくは背部に、JVAに届け出た正式なチームネームまたはチームニックネームのいずれかを付けなければならない。サイズは規定しない。また、チームのシンボル・マーク(校章・略号)も付けてもいい。
    - ② ジャージ(シャツ)の袖に(袖が無い場合には背面襟下に)所属する都道府県名を付けてもよい。
  - 8) 選手名
    - ① 選手名の表示は認めない。
  - 9) その他の表示
    - ① ユニフォームには、上記5)~8)以外、表示は付けてはならない。
  - 10) アンダーウェア等について
    - ① アンダーウェアは、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレー動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。  
また、パワーベンツ着用については、プレー動作をしない状態で一切見えないこととする。
    - ② 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険ある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
    - ③ 明らかに色が違う腰に帯状にまくサポーター・コレセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。
  - 11) 服装の変更
    - ① 主審の許可を得たユニフォームの変更(濡れたり破れたりしたユニフォームをセット間にまたは選手交代後に交換すること)は、新しいユニフォームは色、デザイン、番号が同じでなければならない。
  - 12) 上記1)~11)に準じていない当該選手の出場は認められません。
  - 13) スポンサー規定について  
※ 公益財団法人日本バレーボール協会主催大会時に適用されます。
    - ① 試合中の競技用品(ユニフォーム、サポーター、ベンチスタッフウェア、シューズ)は、日本バレーボール協会公

認企業以外のロゴの露出を禁止しています。公認企業以外のロゴはテープ等で隠してください。

- ② ユニフォーム公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、ファイテン、アディダス、アンダーアーマー、ビクトリー、ミレグラ、アルスト)  
　　サポーター公認企業(アシックス、デサント、スキンズ、ミズノ、D&M、ザムスト、ファイテン、ジャパーナ)  
　　シューズ公認企業(アシックス、デサント、ミズノ、アディダス、アンダーアーマー)

## 9. ユニフォーム広告規定について

現在、関西学連にはユニフォーム広告に関する規程がありません。暫定処置として、全日本学連に申請する書類を関西学連にも提出してください。提出しない場合には試合での着用を認めないことがあります。

## 10. コートオフィシャルについて

- 1) [男女2~7部]は主・副審各1名。必ず資格の取得者が審判をしてください。  
※ 主・副審は原則として、規定のレフェリーコニフォームを着用してください。
- 2) ラインジャッジ4名。[男女1、2、3部]は講習会の受講者が線審をしてください。
- 3) 点示2~4名。
- 4) [男女1、2部]記録員5名。(スコアラー1名、リベロチェック1名、JVIMS3名(パソコン、判定員、バックアップ各1名))  
[男女3部]記録員2名。(スコアラー1名、リベロチェック1名、JVIMS3名(パソコン、判定員、バックアップ各1名))  
[男女4部~7部]記録員1名。(スコアラーのみ)
- 5) [男女1部]ボールリトリバー6名。※4名配置は固く禁止します。
- 6) コートオフィシャルはプロトコール5分前には記録席に集合し、各チームの服装、背番号、ボール、記録用紙などのチェックを行い、学生役員としての責務を果たすように務めてください。
- 7) コートオフィシャルは、最初から最後まで担当するものであって、原則として試合途中での交代は一切認められません。
- 8) コートオフィシャルが遅刻した場合は、文書で連盟に理由書を提出していただきます。さらに当該チームへお詫び状を提出していただく場合があります。
- 9) ラインジャッジ、ボールリトリバー、記録、点示は、各大学統一のトレーニングスーツを着用してください。  
また、常識のある態度で臨んでください。
- 10) リーグ戦の公平さを保つため、審判講習会の参加と審判資格取得を義務づけます。JVA公認審判員または学連公認審判員、JVIMS判定員(1部、2部)、JVA公認判定員(3部、4部)の資格を保有してください。

## 11. その他

- 1) 試合前の待機中のチームについて  
\*今季は感染症対策としてチームの入場時刻が設定されています。それより前には会場内には入れません。
  - ① 前試合終了後の挨拶が終了し、完全にコート及びベンチを退くまで競技エリアに入ることを禁止します。ベンチ後方やウォームアップエリア付近で待機することも禁止します。
  - ② ボールをボールカゴから出して手に持つて待機することも禁止します。
  - ③ 試合をしている同じフロアでのボールを使用した練習を禁止します。(ストレッチ程度とします。)
- 2) 応援について
  - ① チーム応援は、試合進行、観客者等に十分配慮し、競技フロアでない場所で応援することが望ましい。
  - ② コートチェンジによるチーム応援団の移動は自肅してください。応援は声を出さず拍手のみとします。
  - ④ 横断幕、部旗等の掲揚は、出来るだけ当該試合中としてください。
- 3) 競技違反について
  - ① 審判員、学生役員、競技者への不法行為(無作法・侮辱的・暴力的な行為)に対しては、競技規則により罰則が与えられます。また、行為内容によっては、競技後においても処分される場合があります。
  - ② 競技違反については、{(一財)全日本大学バレーボール連盟競技違反行為等に関する規程}、{(一財)全日本大学バレーボール連盟競技違反等に対する連盟規律委員会内規}、{競技違反行為及びマナー違反行為規律委員会処分基準細則}、いずれも(2014年4月1日制定)に従い、関西大学バレーボール連盟規律委員会で審議します。
- 4) 暴力行為及びハラスマント並びに法的違反行為に関する取扱いについて
  - ① {(一財)全日本バレーボール連盟暴力及びハラスマント並びに法的違反行為に関する規程}、{全日本バレーボール連盟暴力行為及びハラスマント並びに法的違反行為に関する裁定委員会内規}、{全日本大学バレーボール連盟処分基準細則}、いずれも(2014年4月1日制定)を適用します。
- 5) 開会式、表彰式、閉会式について
  - ① 今季は開会式・閉会式は行いません。
- 6) チェンジコート及び試合終了時の消毒について
  - ① チェンジコート・試合終了時には使用したベンチの消毒を当該チームで行ってください。

## <申し合わせ事項>※(男女リーグ戦規定抜粋)

1. 加盟各大学の部員は、試合会場に来る時、出来るだけ公共交通機関を利用し、スポーツマンらしい清潔な服装で来なければならない。下駄履き、スリッパでの来場は禁止とし、特に喫煙および飲食はそれぞれ定められた所定の場所とする。また、各会場の使用規則を守るとともに試合終了後の整理整頓を最終試合チームが競技委員および学連委員の指示に従って行う。
2. チームの所持品等の管理は各チームの責任において保管すること。万一、盗難が発生しても本連盟は、その責任を一切負わない。
3. リーグ戦の試合中に生じた負傷については、本連盟は応急処置を行うが、その責任は一切負わない。

## <審判上の注意事項>

1. 2018年度公益財団法人日本バレーボール協会6人制競技規則に則り行います。
2. ボールシステム、プレイングコート等について
  - 1) 男女1部は、競技者交代用ナンバーパドルは全試合使用します。1面開催時のみ、タイムアウトブザー、競技者交代用ブザーを採用します。
  - 2) ボールシステムは、男女1部は5ボール、男女2部以下は1ボールシステムで行います。
  - 3) フリーゾーンの幅について、原則としてサイドラインから3m～5m、エンドラインから3m～6.5mとします。  
※ エンドライン後方6.5mの位置にサーブ制限ライン(9m)を設けます。赤もしくは白テープを引いてください。
  - 4) コートラインは、原則として白色で行います。※監督制限ラインについては、実線可とします。
3. 試合開始前
  - 1) 監督は、プロトコール前、記録用紙に記載された競技者の氏名とナンバーを確認し、サインをする。(スターティングリベロが決まっている場合は"リベロ"の欄の上段に、セカンドリベロは、下の欄に記入する。)
  - 2) チーム・キャプテンは、試合開始前にサインし、チームを代表してトスをする。
  - 3) 各セット開始前に提出されたライン・アップ・シートは、副審または記録員に手渡した後は変更が認められない。
4. 競技中
  - 1) 競技の中止(タイム・アウト)は、監督(監督がいない場合はゲーム・キャプテン)が要求できる。
  - 2) 競技の中止(タイム・アウト、競技者交代)は、ノーカウント直後は認められない。
  - 3) 交代競技者が交代を要求する時は、コートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入らなければならない。
  - 4) 監督は、試合中に試合を妨害あるいは遅延させない限り、自チームのベンチ前のフリー・ゾーン(アタック・ライン延長線からウォーム・アップ・ゾーン)の範囲内で立ったまま、あるいは歩きながらコート上の選手に指示することができ
  - 5) 競技参加者は、役員、相手チーム、チームメイトさらに観衆に対してもフェアプレーの精神で敬意を示し、礼儀正しく行動しなければならない。
    - ① 相手チームの選手の名前や番号を特定するような行為については、警告または罰則の対象となる。
    - ② 監督が線審の側で、アピールするようなライン判定をする行為についても警告または罰則の対象となる。
  - 6) 不法な行為については、軽度な不法な行為と罰則につながる不法な行為に分けられる。
    - ① 「軽度な不法な行為」は、罰則の対象にはならないが、口頭またはイエローカードを使用して警告される。
    - ② すべての不法な行為に対する罰則は、個人への罰則である。これは試合終了まで有効であり、記録用紙に記入される。
    - ③ 同じ試合で、同じチームメンバーが不法な行為を繰り返した場合は、累進的な罰則になる。(罰則段階表による)
5. ワイピング(クイックモッパー)行為について
  - 1) クイックモッパーは当該チームから2名まで配置することができます。服装は、選手やベンチスタッフと異なる統一されたもので、2名の場合は、ベンチの両サイドに1名ずつ待機し迅速に行ってください。
  - 2) クイックモッパーがいない時は、コート上の選手が行うのでワイピング用の布を保持してください。
  - 3) 試合開始前、タイム・アウト、及びセット間におけるワイピングは、ベンチの控え選手または、クイックモッパーが必ず行ってください。
  - 4) クイックモッパーがチームへの応援行為、チームのマネージメント行為(ドリンク、アイシング作り等)をすることは一切禁止です。尚、それらの行為はチームに対しての警告となります。
6. 給水のためのタイムアウトについて
  - 1) 給水タイムアウトの適用は、各試合のプロトコール前の室内温度が30度以上の場合のみ採用する。
  - 2) 選手とコートオフィシャルの健康と安全に配慮することを趣旨として、各セット(5セット目は採用しない)にリードするチームが13点に達したとき、給水を目的とする30秒のタイムアウトを採用する場合があります。コートオフィシャルは試合の妨げとならない場所に置き、また、床を濡らさないよう十分配慮してください。
  - 3) 給水のためのタイムアウト中、選手は各ウォームアップゾーン付近での給水・汗拭くなどの行為に限定します。チームスタッフはチームベンチに着席し、戦術的な指導は禁止します。
7. リベロ・プレーヤーの取扱いについて
  - 1) リベロ・プレーヤー(以下リベロ)は、チームキャプテンにもゲームキャプテンにもなれない。
  - 2) リベロの再指名
    - ① 監督(監督不在の場合はゲームキャプテン)は、いかなる理由であってもリベロがプレーできなくなつたことを宣言することができる。(プレーできなくなつたことを宣言することでリベロの再指名ができる。)
    - ② リベロが1人のチーム  
リベロ1名の登録や、1名しかいなくなつた場合で、プレーできなくなつたと宣言されたときは、その時点でコート上にいない他の選手を試合終了までリベロとして再指名することができる。
    - ③ リベロが2人のチーム  
2人のリベロが登録されているチームは、そのうち1人がプレーできなくなつても、リベロ1人で試合をすることができる。再指名は認められない。
    - ④ 再指名するが認められた場合。リベロとしてのユニフォームに着替えるか、リベロ・ビブスの着用をしてください。この際、着用するビブスはチームで用意してください。
  - 3) リベロはチームの他の競技者とはつきりと区別できる対照的な色のユニフォーム(少なくともジャージ(シャツ)だけは)を着用しなければならない。(左右対称とか上下対称ということではなく、はつきりと区別できるデザインである)
    - ① 競技者の胸の部分が紺色で袖の部分が白色の場合、リベロの胸が白色で袖の部分が紺色のような反対デザインものは禁止します。
    - ② リベロと他の競技者とのユニフォームの色が共に2色以上を用いる場合、それぞれが同色を用いないように注意してください。
  - 4) リベロ・ビブスの着用は、再指名されたリベロ以外に認められません。
  - 5) 正規の競技者とリベロ競技者の人数割りについて
    - ① 13名以上、選手登録するときは、必ず2名のリベロを含めなければならない。

8. 競技終了後
  - 1) 監督・キャプテンは、試合終了後、審判に対して挨拶(握手)をしてください。
  - 2) キャプテンは、記録用紙にサインをしてください。
9. 学生役員の任務について※ 担当する試合が第1試合の場合は試合開始の30分前、2試合目以降の場合はプロトコール開始5分前までには記録席後方に集合してください。各担当者は、それぞれ決められた人数で行ってください。
  - 1) ラインジャッジ(4名)
    - ① 自分の担当ライン(一人1線)をよく見て、正確なジャッジをしてください。
    - ② ボールコンタクト(ワンタッチ)は、集中して判定してください。確実にあったものについてフラッギングナルを出してください。
    - ③ アンテナへの接触やアンテナ外通過に関する判定は、自分の位置から確実に見えた時はフラッグを振ってください。
  - 2) スコアラー(1名)
    - ① 公式記録となるので、正確に記入してください。
    - ② 点示係の点数に合わせることなく、自分の判断で点数を記入してください。
    - ③ タイム・アウトの2回目、及び競技者交代の5回目と6回目は副審に伝えてください。
    - ④ サーブ順の間違いが発覚した場合、
      - a) サーブを打った瞬間にブザーを鳴らすか、速やかに副審に知らせてください。
      - b) 誤ったサーバーの番号と正式なサーバーの番号を副審へ伝えてください。
      - c) A・B両チームの次のサーバーを確認し、副審へ伝えてください。
      - d) 点示係の得点を確認してください。
  - 3) 点示員(2~4名)
    - ① 主審がサイドを示した後、得点を入れてください。
    - ② セット表示を行ってください。(得セットの表示も行ってください)
    - ③ 常にスコアラーと連携を持ち、正確な点示を心がけてください。
  - 4) ボール・リトリバー(6名)
    - ① サーバーにボールを渡す人は、サーバーがエンド・ライン付近に来たときに、ワンバウンドでボールを渡してください。
    - ② ラリー中には中腰姿勢で行い、座り込んだり、立ったりしないでください。補助椅子がある場合は、利用してください。
    - ③ ボールをサーバーに渡すとき以外は投げずに、迅速に床に転がしてください。その際、サイドライン側は、原則としてベンチ前フリーゾーンは流さず、主審側を流すようにしてください。

2021年度 関西大学バレーボール連盟 秋季リーグ戦  
 ・審判の分担について組合せ表のコートオフィシャル担当の覧です。

コートオフィシャル担当	
左側の大学	右側の大学
○○○大学	×××大学

## (男女1部)

左側の大学	右側の大学
ラインジャッジ 4	ボールリトリバー 6
スコアラー 1	得点 2~4
リベロチェック 1	
J V I M S 3	

## (男女2部)

主審 1	副審 1
ラインジャッジ 4	スコアラー 1
J V I M S 3	リベロチェック 1
	得点 2~4

## (男女3部)

主審 1	副審 1
ラインジャッジ 4	スコアラー 1
J V I M S バックアップ 1	リベロチェック 1
J V I M S 判定員 1	得点 2~4

## (男女4部~7部)

主審 1	副審 1
ラインジャッジ 4	スコアラー 1
	得点 2~4

以上の役割を担当してください。

- ※・主審・副審を行う方は、審判服を着用し、公認されているワッペンを付けて下さい。
- ・各チームのリーグ戦担当学連公認審判員やコートオフィシャルなど、何かあれば必ず関西学連や学連員に連絡・相談するようにして下さい。
- ※・1 試合目は試合開始時間の30分前、2 試合目以降は20分前（プロトコールの5分前）  
に必ず集合してください。

※・今回の秋季リーグは、原則として有資格者を主審・副審として担当してください。  
 有資格者がいない大学は、事前に学連に連絡をしてください。

※2021年度の秋季リーグ戦につきましては、男女1部においても各チームの審判資格を持っているものを試合に割当をする状況も考えられます。審判員として活動できる準備をお願いします。

## 登録について

### <手続き方法>

- ①JVAに継続申請をして、承認をもらう
- ②選手を登録して振込を完了させる
- ③2021年度秋季リーグ戦にエントリーをする、すべての選手の名前が記載されたことを確認する。

■エントリー用紙（リーグ申込時に送ったExcelデータ）  
の1点のみを [kansai.toroku@gmail.com](mailto:kansai.toroku@gmail.com) のアドレスに送信  
メールの件名：「○子 ○部 ○○大学 登録について」

（追加選手がない場合も必ず送信）

※従来のJVA、全日本の登録用紙は送信不要です

↓（チーム手続き完了）

- ④学連委員の確認をもってリーグ戦の出場を認める  
(なおエントリーに記載されていない選手、エントリーに記載されているが登録がされていない選手がリーグ戦に出場することはできません)

以上、③までの手続きを 8月22日（日） までに完了させてください。（今在籍している選手）

※8月22日（日）以降の追加登録は新規加入者（この秋から入部する者）のみ  
期限後の登録を認めます。新規加入者以外の登録は原則認めません。  
また運営の関係上、新規加入者の登録は 9月3日（金）19時まで に追加登録をしてください。ここまで登録完了者がリーグ開幕戦に出場可能です。

～開幕戦以降、選手を追加する場合～

①JVAに追加選手を登録し、振込を完了させる

②追加選手の名前、背番号が追加されている「エントリー」を

kansai.toroku@gmail.com に送信

メールの件名：「○子 ○部 ○○大学 追加登録について」

③該当大学責任者が各部の全体ラインで学連委員及び各チームへ報告

「○○大学 ○番 ○○（名前）を追加しました」

※リーグ戦当日に追加したことを連絡しても出場を許可しない場合があります。

↓ 2日前までにグループで学連員に連絡してください。

④担当学連委員が追加選手のJVA登録及び振込が完了されているかを確認  
—確認完了—

「○○大学 ○番 ○○（名前）の追加を確認しました。

○日の試合より出場を認めます。」

⑤3部以下のチームは学連委員が会場にいないため各部リーグ戦運営委員がチェックプロに名前を追加

※開幕戦以降の追加登録に関しては各試合の2日前までに送信してください。

# 常任学連委員・リーグ戦運営責任者

男子	担当常任 学連委員	補助常任 学連委員	リーグ戦 運営責任者	女子	担当常任 学連委員	補助常任 学連委員	リーグ戦 運営責任者
1 剣持 俊也	吉村 楽	吉村 楽	1	坂口 莉恵	滝野 篠子	山本 紗里	
2 野元 政輝	山本 紗里	野元 政輝	2	鈴江 花菜	大崎 日向子	大崎 日向子	
3 林 黩斗	吉村 楽		3	小田 玲緒奈	武林 風音		
4 八木 誉	大崎 日向子		4	藤田 弥鈴	武林 風音		
5 東 翔太	山口 駿介		5	吉岡 和奈	義卜 春風		
6 山口 駿介	東 翔太		6	村田 和奏	滝野 篠子		
7 西濱 操穂	山本 紗里		7	仲宗根 舞香	義卜 春風		